

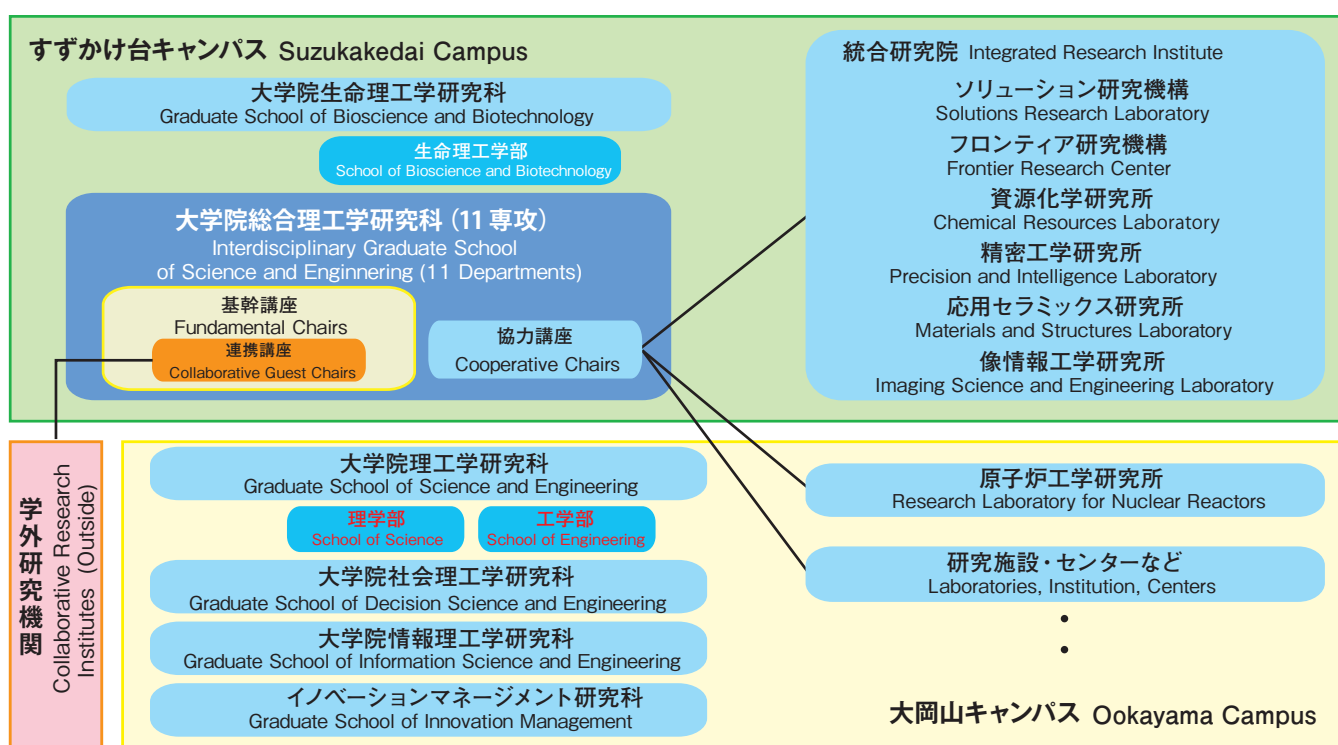
大学院総合理工学研究科は、研究科固有の「基幹講座」と、本研究科以外の学内組織の教員による「協力講座」とからなっています。協力講座では、各研究所やセンターなどの教員が協力しています。また、基幹講座には、学外からの協力を得る工夫もされています。

これは学外の高度な研究水準の官民の多様な研究所から連携教員を招聘するもので、基幹講座のメンバーとして緊密な関係のもと教育研究を行っています。

本研究科は学部を持たない、大学院中心の組織です。11専攻からなる大きな研究科ですが、各専攻の研究分野は大きく3つのグループにまとめることができます。次頁に示すように、これらを、物質材料系、環境エネルギー系、システム情報系と呼んでいます。

これは便宜的な分け方なので、分野の表現が大雑把です。そこで、各専攻とそれぞれの関連分野をマトリックスで示したのが、次頁の表です。本研究科は、このように幅広い領域をカバーしています。

また、本研究科では通常の研究者博士とともに、今後、社会から求められる新たな博士像である、高度科学技術専門家の養成にも力をいれています。このことを特に進めるため、2010年度から「複合創造領域」を設置しました。この領域は、博士課程の特別教育研究コースで色々な特典があり、魅力的なものとなっています。コースは、重点プロジェクトサブコース、ワイドキャリアサブコース、融合デザインサブコースの3つからなります。



The Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering consists of “Fundamental Chairs,” which belong to the Graduate School itself, and “Cooperative Chairs,” which are operated by professors who are associated with the University’s research laboratories and research centers. To enlist external cooperation, the Fundamental Chairs invite instructors from external research laboratories that conduct advanced research to conduct education and research as members of the Chairs through mutual close cooperation.

The Interdisciplinary Graduate School is an independent graduate school that has no direct connection to any undergraduate department.

It is a big school consisting of 11 departments. The areas of research are broadly divided into three groups, as shown in the next page: the Materials Group, the Environment and Energy Group, and the Information and Systems Group. This is a classification for the sake of expediency, so the descriptions of each area are very general. Each department and related area is listed in a matrix in tabular form on page 5. In this way, the school covers a broad range of areas.